

## 平成 27 年度 産学連携交流事業 実施報告

地元および周辺地域企業と有明高専との間を取り持ち、地域企業の活性化を図るために、本振興会は講演会、工場見学、シーズ発表会等を企画・実施してきた。また、平成 26 年度にサテライトオフィスを開設し、有明高専の一層の開放と情報収集および発信能力の向上を図っている。

### 1. 分科会

振興会企業と有明高専の教職員と地域企業の技術者との交流を深め、共同研究や技術・製品開発を活性化することを目的に分科会を設立する。

企業幹事：吉海 寛人（株式会社三井三池製作所）

高専幹事：松野 哲也（電子情報工学科）

(A) Ruby 研究会の立ち上げと福岡県内他地域との連携を強化

(B) 技術士会との連携について検討

を通して分科会の課題を検討することにした。

#### 技術士講習会

1 月 14 日本校大会議室にて、技術士 末松正典氏による『初めての技術士試験と対策』が開催され、本校職員と企業より 18 名参加。

### 2. 事業の開催

振興会会員企業に有明高専が所有する設備を会員企業に紹介して、両者間を取り持ち、技術相談から共同研究へ発展させる必要がある。これらの基盤となるシーズやニーズなどについて情報を共有し、事業展開への機会づくりを図るために、以下の事業を実施した。

#### (1) 機器説明会

- ・ガスクロマトグラフィー質量分析説明会

11 月 27 日本校物質工学科情報化対応スペースおよび第 1 機器分析室にて、『ガスクロマトグラフィー質量分析説明会』が開催され、本校職員及び企業より 8 名参加。

#### (2) 特別講演（5 回）

- ・英語プレゼンテーション講座

10 月 2 日本校視聴覚室にて、Q-Leap 株式会社取締役・中央大学ビジネススクール総合政策学部講師 愛場吉子氏による特別講演『英語プレゼンテーション講座』が開催され、本校職員と学生及び企業より 72 名参加。

- ・シリコンバレーから学ぶ～エンジニアに要求されるマーケティング～

10 月 30 日本校視聴覚室にて、シリコンバレージャパンビジネスコンサルティング最高経営責任者 マーク加藤氏による特別講演『シリコンバレーから学ぶ～エンジニアに要求されるマーケティング～』が開催され、本校職員と学生及び企業より 51 名参加。

- ・世界一周から地元・佐賀での活動について

12 月 11 日本校視聴覚室にて、佐賀県上峰町役場まち・ひと・しごと創生室臨時的任用職員 水田秀樹氏による特別講演『世界一周から地元・佐賀での活動について』が開催さ

れ、本校職員と学生及び企業より 27 名参加。

- ・多彩な交流から生まれる改革の原動力 ～ステークホルダー各々の役割～

1月8日本校視聴覚室にて、永利公認会計士・税理士事務所代表 永利新一氏による特別講演『多彩な交流から生まれる改革の原動力 ～ステークホルダー各々の役割～』が開催され、本校職員と学生及び企業より 35 名参加。

- ・歴史を知り未来を探る水中考古学

3月11日本校視聴覚室にて、九州国立博物館科学課研究員 佐々木蘭貞氏による特別講演『歴史を知り未来を探る水中考古学』が開催され、本校職員と学生及び企業より 37 名参加。

### (3) ビジネススキル基礎講座（高専機構社会人活用助成を利用）

本校専攻科講義室にて、株式会社ASKプロジェクト代表取締役 橋爪康知氏による「ビジネススキル基礎講座」4講座開催。

（第1回） 10月9日 （ビジネスコミュニケーションの考え方）

（第2回） 10月29日 （コミュニケーション基礎スキル1）

（第3回） 11月13日 （コミュニケーション基礎スキル2）

（第4回） 12月4日 （コミュニケーション基礎スキル3）

### (5) 有明高専シーズデータベースの整備

平成27年度も引き続き、有明高専シーズデータベース（高専データベースと様式を統一したもの）を、Web ページに掲載した。

### (6) サテライトオフィス事業

大牟田市・大牟田市地域活性化センター・有明高専コーディネータによる定例情報交換会を開催した。九州弁理士会との協定による有明高専担当弁理士による知財相談会を開催した。

## 3. 有明高専主催・共催行事支援

有明高専が主催または共催する事業は多数あるが、その中で振興会会員企業と密接に関連した下記の事業を行った。

### (1) 有明高専オープンカレッジとの共催イベント

有明高専で8月22日（土）、23日（日）にオープンカレッジ2015が開催され、～みて・ふれてワクワク体験！！～をテーマに各学科企画の、ものづくり体験教室や学科紹介、中3向け進路相談、女子学生によるイベント、小中学生によるロボコン Jr リーグ等が開催された。昨年よりも多い1,183名という来場者があり、地域の方々、周辺の小中学生のみならず、遠方からもご来場いただいた。

ここで、振興会会員企業紹介を実施し、多くの来場者があった。

### (2) 第2回九州沖縄地区高専・日本弁理士会九州支部交流会

12月11日リファレンスはかた近代ビルにて、『第2回九州沖縄地区高専・日本弁理士会九州支部交流会』が開催されました。高専教員の研究・技術シーズ紹介では、本校一般教育科の竹内伯夫准教授と阿嘉奈月助教が発表を行いました。

### (3) 第13回 おおむた産学官連環交流会

基礎研究の成果をいち早く出口につなげる産学連携の重要さが増す中、さらに産学官のつながりを深め、広く大牟田地域の技術革新を進展するために産学官連環交流会が開催され、

多数の参加者があった。本校からは電子情報工学科石川洋平准教授が「まちなかシリコンバレーとICLabの価値づくり戦略」に関する発表を行いました。多数の参加者により有意義な交流が見られ、盛況のうちに終えることができた。

日時：平成28年2月5日（金）14：00～（意見交換会 17：30～）

会場：ホテルニューガイアオームタガーデン 鳳凰の間

#### 4. 地場産業振興支援研究事業

地場産業振興を最終目標として、地場企業と高専教職員との連携による研究・開発の促進を目的とする地場産業振興支援研究を継続支援する事業を行った。また、会員企業の技術相談に基づく新規導入装置による測定依頼を支援した。

以下の4件を採択助成した。研究成果は総会資料として配布し、この中の2件は振興会総会終了後に発表して頂く予定である。

◎（一般教育科）焼山廣志 教授

研究課題：「菅原道真研究～『菅家後集』所載の作品論と編纂事情考（注釈を通して）～」

【書籍出版】

◎（電子情報工学科）石川洋平 准教授

研究課題：地場企業と連携した「サテライトオフィス」活用に関する研究

◎（機械工学科）堀田源治 教授・坂本武司 講師・南山靖博 助教

研究課題：企業技術者と学生の共同作業による技術開発を目的とした産学連携モノづくりの研究（平井精密工業(株)・(株)美和技研との連携による卒業研究・企業技術者教育）

◎（一般教育科）村田和穂 教授・竹内伯夫 准教授

（建築学科）上原修一 教授

（機械工学科）原慎真也 准教授

研究課題：大牟田市民カレッジ講座「伝説を科学する」に関わる科学研究支援

#### 5. 研究開発助成事業の斡旋導入

年度	共同（件）	受託（件）	合計（件）	共同（千円）	受託（千円）	合計（千円）
17	18	8	26	17,082	19,315	36,397
18	10	6	16	14,940	14,872	29,812
19	13	5	18	23,600	3,195	26,795
20	18	5	23	14,597	4,677	19,274
21	12	5	17	9,250	8,255	17,505
22	6	4	10	3,887	1,850	5,737
23	6	5	11	3,825	3,690	7,515
24	7	6	13	1,260	6,499	7,756
25	11	4	15	3,042	7,283	10,325
26	7	3	10	796	4,684	5,480
27	11	2	13	5,082	800	5,882

## 6. 平成27年度予算執行状況

### 【収入の部】

(単位：円)

区分	決算額	予算額	比較増減
1. 振興会負担金	700,000	700,000	0
2. 繰越金	575,902	575,902	0
3. 雑収入	129	0	129
合 計	1,276,031	1,275,902	129

### 【支出の部】

(単位：円)

区分	決算額	予算額	比較増減
1. 分科会支援金	0	200,000	▲200,000
2. 地場産業振興支援研究費	200,000	200,000	0
3. オープンカレッジ	127,151	150,000	▲22,849
4. 会議費	3,240	20,000	▲16,760
5. サテライトオフィス事業	0	200,000	▲200,000
6. 事業費	0	200,000	▲200,000
7. 予備費	0	305,902	▲305,902
合 計	330,391	1,275,902	▲945,511

### 【収支】

(単位：円)

平成 27 年度収支残額	収入合計	支出合計	収支残額
	1,276,031	330,391	945,640 ※

※一般会計に繰り戻し。